



利尻島固有種

リシリヒナゲシ
利尻雛芥子(ケシ科)7月~8月、8合目以上で見られる。利尻島の固有種でケン属では日本で唯一の自生種。



利尻島固有種

リシリアザミ
利尻薊(キク科)8月中旬~9月、島内の南東部の海浜や湖沼に咲く。1996年に写真家梅沢俊氏により発見された。花が上を向いて咲くのが特徴。

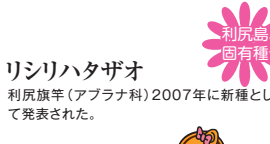
利尻の花ごよみ

風景に花を添える利尻島の花たち



利尻島固有種

ボタンキンバイ
牡丹金梅(キンボウゲ科)7月上旬~8月上旬、9合目以上で見られる。植物学者牧野富太郎により命名。チシマノキンバイソウの仲間でおレンジ色のかく片がボタン咲きとなる。



利尻島固有種

リシリハタザオ
利尻旗竿(アブラナ科)2007年に新種として発表された。



利尻で最初に命名された種



リシリリンドウ
利尻竜胆(リンドウ科)7月中旬~8月下旬、山頂部で見られる。北海道本島の中央高地や夕張岳にも分布。牧野により発表された。



リシリリシ
利尻附子(キンボウゲ科)8月、8合目以上で見られる。利尻礼文両島、サハリン南部に分布するトリカブトの一種。



リシリゲンゲ
利尻蓮華(マメ科)6月下旬~8月、山頂部で見られる。タカネオウギとも呼ばれ大雪山、夕張岳にも分布。



リシリトウチソウ
利尻唐打草(バラ科)7月~8月、山頂部で見られる。タカネトウチソウの変種で、北海道本島の中央高地にも分布。



リシリオウギ
利尻黄耆(マメ科)7月中旬~8月上旬、山頂部で見られる。大雪山系や本州の高地にも分布。



エゾコザクラ
蝦夷小桜(サクラソウ科)7月、山頂部で見られる。群生しリシリコザクラとも呼ばれる。北海道の各山系に咲く固有種。



ミヤマオグルマ
深山小車(キク科)7月~8月、8合目以上で見られる。



ミヤマオダマキ
深山宇環(キンボウゲ科)8月、山頂部で見られる。北海道と本州中部以北にも分布。



リシリビヤクシン
利尻柏楨(ヒノキ科)6月~7月。常緑の低木で北海道に分布。

館内のご案内

利尻の自然と生き物

島に生きる豊かな森や海の生き物、高山植物のジオラマを展示しています。当館裏の高山植物園にもぜひお立ち寄りください。

リシリのころ

「リイシリ」と呼ばれていた近世の資料をもとに、アイヌの人びとの生活様式や会津藩士・マクドナルドについて解説しています。

利尻の近代

明治時代以降の行政資料をはじめ、人物や航路、教育関係、生活民具を展示しています。

ニシンの恵みと栄華

ニシン漁で使われた番屋や漁場のジオラマ、漁具や写真のほか、島の水産業に関する資料を展示しています。

ご利用案内

開館期間/5月1日~10月31日 9:00~17:00

休館日/毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日
*7~8月中は無休です。

入館料/一般(高校生以上)…200円(団体160円)
中学生・身障者……………100円(団体60円)
小学生……………50円(団体30円)
*団体は30名様以上です。

お問い合わせ

利尻島郷土資料館

〒097-0211
利尻富士町鬼脇字鬼脇
TEL0163-83-1620

利尻富士町立鬼脇公民館

TEL0163-83-1321
FAX0163-83-1320

利尻富士町教育委員会

〒097-0101
利尻富士町鴛泊字富士野6
TEL0163-82-1370
FAX0163-82-2376
E-mail:kyoui-shakyo@town.rishirifuji.hokkaido.jp



利尻の原始・古代の遺跡出土品については、りっぶ館(鴛泊字栄町 TEL0163-82-1721)に展示中です。

利尻礼文サロベツ国立公園



利尻島郷土資料館

